



河辺林通信

建部北町の森から

2018年 11月号 No.247

↑アサギマダラが今年も森を通過していきました

かんぽ生命大津支店 ボランティア

今年度、遊林会は日本フィランソロピー協会様を通して、株式会社かんぽ生命保険様より寄付金を頂いております。当然ありがたいのですが、何が嬉しいかというと、寄付は通常の活動に使えるのです。企業さんの助成金はどうしても既存の事業には使えず、新規の事業しか出にくいこと、ほとんどが消耗品費などの経費という縛りがあります。

寄付はその縛りがないので大変うれしいのです。ただ、縛りが無いといってもスタッフの給料に使うわけではありません！ちゃんとフィランソロピーさんの方に予算書と計画書、中間報告を出し、寄付の用途についてクリアしている状況です。

さて、そんなかんぽ生命さんですが、今回はなんと大津支店の皆様が森の視察と里山ボランティアにきていただくことになったのです。

ネイチャーセンターの展示を使っの里山の解説からはじめ、森の案内、そして実際に保全活動に参加と濃密な時間を過ごしていただきました。

その日は別で子どもの利用が2団体あり、森で笑顔で活動する子どもたちの様子も見てもらうこともできました。里山の保全とその利用、それこそが遊林会の価値であると思います

ので、その2つを体感してもらえともて良い日になりました。

大津支店の皆様、ありがとうございました。また是非お越しください。



6 回目のモリイコ！とモリイコ！S

もう6回目なので、仲間と協力しないとできないことも増えてきました！今回のミッション探しは班で出発。どの班もバッチリミッションを見つけることができました。



↑宝箱の場所はどこだ？！

ミッションの内容はというと初めて尽くし。1つ目は「小刀に挑戦」自分で削ったおはしを使ってお弁当を食べました。2つ目は「たき火に挑戦」4



↑班で協力してたき火に挑戦！

歳さんも1人でマッチを擦ることができました。たきぎたちはもちろん森の中で調達します。マッチ1本でつけたたき火でおいしいたこさんウイナーを食べました。

「モリイコ！S」のミッションは「8種類の木を使って工作をしよう！」台風で折れた木の中からモリイコ！Sの隊名にもなっているアベマキやクヌギなど、色んな樹種を使って工作をしました。「どんな木があるかな？」



↑台風で折れていたモミジの枝をゲット！



↑太い枝を小刀で削って...

と聞いてみると、結構みんな知っていてびっくり。

そして、その木たちはもちろん自分たちで、森の中へ手分けして取りに行ってきました。太い枝をノコギリで切ってお絵かきしたり、色んな樹種の小枝で色鉛筆を作ったりして、自由に工作しました。

●10月の作業だより

第2土曜日（10月13日） 16人

①竹の楽器づくり班

11月11日の子ども向けコンサートでプレゼントする楽器（クラベス）をやすりと小刀を使って心を込めて作成しました。

② 材集め班

台風21号の被害で倒れて玉切りにした木を作業小屋まで運びました。120歳のケヤキの重みはすごかったです。

③ 食事班

デイキャンプで人気のビビンバ丼と豚キムチ、さつまいものリンゴ煮と大学芋、冬瓜の味噌汁季節の野菜たっぷりの料理でした。

木ままクラブ（10月18日）

梵釈寺での活動でした。
台風の影響で倒れた木の処理をしました。チェーンソーや高枝ノコギリが活躍しました。
他にも笹刈りをしました。一面あった笹がなくなりました。
刈った笹は燃やしました。

第4水曜日（10月24日）

台風で倒れた木の処理をしました。人力では無理なものもありましたが、できる限りのことをしました。
その後は水辺の木の処理班と薪割り班に別れて活動しました。
今年は倒木が多く、丸太がたくさんあるので、薪割りが大変です。

11月の活動日

11／1 （木）	林内整備
11／10 （土）	林内整備 折れ枝整備
11／15 （木）	梵釈寺
11／28 （水）	林内整備 薪割り

朝 9:00～（遅刻可）
第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

10月観察会

秋といえば『ドングリ！』ということで、今回の観察会は『ドングリ』です。

ドングリ、ドングリと言いますが、ドングリという名前の木はないのです。ドングリは、ブナ科の木の実でかたい皮を持つ種のことをいいます。日本には、約20種類のドングリの仲間が生えています。また、世界には約850種類もあります。すごい数ですね。河辺の森には5種類！2年で実を落とすアベマキ、クヌギ！1年で実を落とすコナラ、ナラガシワ、アラカシがあります。アベマキとクヌギは実も葉っぱもとても似ていて区別が付きにくいです。葉っぱの裏をよくみると、アベマキは毛があり光沢があります。クヌギは葉っぱの裏に毛がなく、薄緑色をしています。文章で見てもよくわかりませんね。枯れ葉の裏が一番わかりやすく、アベマキは白っぽく、クヌギは茶色。今の時期、枯れ葉がたくさんあるので見分けやすいですね。
○×クイズ形式にして出すと、『ドングリって日本だけにこんなにあるの～』

『葉っぱを並べると違いがわかるね』といろんな発見があった観察会となりました。



編集後記

ぐっと寒くなり、秋らしくなってきました。。このごろ、暖かい日にはたくさんのカマキリ出会います。カマキリの目は六角形の形をした一つの目が、数万個集まってドーム型になっているんです。そんな目で森を見るとどんな世界に見えるのか見てみたくなりますね。
（西村）

植生調査進む

かんぽ生命さんと梅原先生のご厚意で実施できている植生調査が4回目になりました。ものすごいペースで進んでおりますが、来年の夏まで調査は続きます。その成果をもとに、

- 1.河辺の森の価値
- 2.これから20年、そして100年先の価値は
- 3.そのためにどんな保全の手法が考えられるか

これらの点について、できる限り詳しく、そしてわかりやすくまとめることを来年度の目標としています。
また、その成果を多くの人に伝えること。
「河辺の森ってそんな価値があるのか！」と、言ってもらえるように頑張っていきたいと思います。

ボランティアメンバー募集！

遊林会は毎月ボランティアを募って、河辺いきものの森の保全活動をしています。あなたも森のスタッフと一緒に、汗を流しに来ませんか？

作業だけでなく、観察会や美味しいお昼ご飯が待っています！詳しくは遊林会事務局までお問い合わせください。

ボランティアだけでなく
新規会員さんも募集中です！



【発行者】
特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良
〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp